



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 193

令和2年（2020年）5月5日発行

■ 立夏（りっか） 令和2年5月5日から5月19日までの節気

先日の朝6時半ごろゴミを出しに外に出ました。その時、「あ、空気がおいしい」って感じました。思わず、大きな深呼吸をしてしまいました。二十四節気では5月5日から「立夏」の節気に入ります。「しだいに夏めいて初夏の日差しが眩しくなる」ころです。新緑の美しい季節です。

ところが、今は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界中が非常事態の渦の中にあります。日本でも2月下旬にイベントの自粛、小中高の春休みまでの臨時休校が要請され、4月7日に7都府県に緊急事態宣言が出され、16日には宣言の対象地域が全都道府県に拡大されました。都知事もゴールデンウィークを「命を守るステイホーム週間」と強く都民に呼びかけました。このような中、皆さま、いかがお過ごしですか。私は「ステイホーム with 愛犬」です。

5日は端午の節句。和菓子屋さん、「ちまき、柏餅」と書かれた半紙が貼られています。初節句を迎える赤ちゃんやご家族は、webでお祝い会を開いているのでしょうか。端午の節供は、古代中国で暑さが増してくるこの時期、害虫や病気が流行りだすことから、菖蒲やヨモギで厄除けするようになったのが始まりだそうです。21世紀の私たちも菖蒲でコロナ退治しましょうか。せめて菖蒲の葉を湯船に入れて菖蒲湯に入ってみるのはいかがでしょう。とりあえず、一年間風邪をひかないそうですから。いつもなら、町のあちらこちらに鯉のぼりを見ることができるのですが、今年はまだ見ていません。自粛の影響？ こういう時こそ、鯉のぼりを泳がせたいと思うのは、私だけでしょうか。

10日（日）は母の日です。こちら今年も直接プレゼントを渡したり、お食事したり、ということをお粛される方が多いと思いますが、気持ちを伝える方法はいくらでもあると思います。私は3月に母を亡くしました。この時期いつ

も母に何を贈ろうかなと考えるので、今回もつい考えてしまい悲しくなりました。一般的には母の日には赤いカーネーションを贈り、亡くなってしまった母には白いカーネーションを贈ると言われています。私は母の好きだった芍薬の花を飾ろうと思います。芍薬は、古来から薬草として使われていて、中世ヨーロッパでは悪魔よけにも使われていたそうです。なんだかミステリアスな花のようですが、花言葉は「はにかみ」。可愛らしいです。

5月7日は満月です。NPO PTPLでは、旧元旦と毎月の満月の日を「ともいきの日」と呼んでいます。「自然に親しみ、関心を持つ日」。日本人の原点である人と自然が共に生きる「ともいき」を自覚する日としています。そして私たちは「思いやり、いたわり、優しさの心」を持った「心の輝き」のある美しい人々が少しでも多くなってほしいと願っています。

(「ともいき暦 <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/> 5月7日より)

今、マスクがなかなか手に入らない中、買い占めて高く売ったり、医療従事者の家族を差別したり、自分がコロナに感染しているのに出かけて行って人にうつしたりする人がいます。一方、マスクを手作りして介護施設や病院に寄付する人がいたり、無料でバスを東京駅まで送るサービスを赤字覚悟で始めたバス会社があったりします。こういう非常時にどのような行動をするか。「思いやり、いたわり、優しさの心」。今こそ、「ともいきの心」が一人ひとりに問われていると思います。もちろん私自身にも。

我が家の庭のチューリップは終わり、モッコウバラも風が吹くとハラハラ花びらを散らしています。そろそろ、花を植え替えようかと思っています。朝顔のようにラップ型で夜にほのかに香るペチュニアがいいかしらと考えています。花言葉がいいんです。「心の平安」。

1日でも早く、日常が戻り、世界中のすべての人に、心の平安が訪れますようにと願っています。皆さま、くれぐれもご自愛ください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■皆さまにお知らせです。

「ともいき便り」は今号より「四立二至二分」の発行となります。

いつもNPO PTPLを応援していただき、ありがとうございます。

「ともいき便り」は 2012 年 4 月 1 日発行の「清明号」から、二十四節気ごとに発行し、今回の「立夏」で 193 号となりました。

二十四節気は、一年を二十四に分けてその一つひとつに季節の特徴を表す名前がつけられ、私たちに細やかな季節の移ろいを教えてくれる暦です。「ともいき便り」では、二十四節気をもとに、季節の花や鳥、旬の食べ物などの身近な話題を取りあげ、自然とともに人とともに暮らしていくことの大切さと素晴らしさをお伝えしてきました。

これからも継続していくつもりでいしましたが、私が体調を崩したため今までのように一年に 24 回、ともいき便りを発行するのが難しくなりました。申し訳ありません。今後は二十四節気の中でも季節の変わり目となる重要な節気、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の「四立」、「夏至」「冬至」の「二至」、「春分」「秋分」の「二分」の八節気に絞って発行していきたいと思えます。どうぞ、引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

ともいき便りの「第一号」（一部抜粋）をご紹介します。NPO PTPL の理事である朝倉勇さんが書かれた文章です。春の選抜高校野球の石巻工業高校野球部主将阿部翔人君の選手宣誓の言葉を、今、改めて噛みしめたいと思えます。

勝田 祥三（NPOPTPL 理事長）

■ 清明号（2012 年 4 月 1 日発行）

いまの節気は「清明（せいめい）」。「二十四節気（にじゅうしせつき）」で、春本番を告げる季節になりました。今年も、随分この清明を待ちました。春分を過ぎても寒い日に襲われ、気象も狂ってしまったのかと思うほどでしたから。清明。「四月五日ごろ。天地には清らかな空気が満ち、萌え出た草木の芽がはっきりしてくる時季」と広辞苑は紹介しています。

清明になる前に、元気を届けてくれたのは高校生の宣誓でした。3 月 21 日、春の選抜高校野球での石巻工業高校野球部主将阿部翔人君の朗々たる声でした。妻と共にそれを NHK のニュースで聞きながら、涙を禁じ得ませんでした。私は 2 月で 81 歳になりましたが、高校球児の宣誓でこれほど心にしみたことはありません。妻が切り抜いてくれた新聞がここにあります。選手宣誓の全文をゆっくり読みました。・・・略

以下、阿部翔人君の宣誓全文です。

『東日本大震災から一年、日本は復興の真っ最中です。被災された方々の中には、苦しくて、心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみにくれている方がたくさんいます。人は誰でも、答えのない悲しみを受け入れることは苦しくてつらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を見せましょう、日本の底力、絆を。われわれ高校球児ができること、それは全力で戦いぬき、最後まであきらめないことです。今、野球ができることに感謝し、全身全霊で、正々堂々とプレーすることを誓います』

宣誓の籤を引き当てた夜、翔人君はミーティングで「自分たちの言葉が、東北、宮城、石巻の言葉になる。一緒に作り上げよう」と部員に語りかけた。選手たちはそれぞれの思いをボードいっぱい書き、2日かけてまとめたそうです。全員が「思いを共にして」創りあげたメッセージだったのですね。助け合い、支え合い、励まし合う被災地の人びとの姿が浮かびます。

その姿が全国の人びとの心を打ったのでしょうか。人は、共に助け合い、支え合って生きている。そのことを思い知らせてくれた宣誓の言葉、精神、姿勢に感動したのでしょうか。そして、日本の希望を感じたのでしょうか。私もそうでした。そして、「教えるとは希望を語ること。学ぶとは真実を胸に刻むこと」という詩人の言葉を思いました。

それにしても、どういう偶然が、参加 32 校の中から被災地石巻工業高校を選手宣誓校に選ばせたのか。籤を引いたのは主将阿部翔人君です。これは、偶然でしょうか。いや、なんというか。「天の配剤」でしょうか。「神懸かっている」と、監督の松本嘉次さんは洩らしたそうです。清明という文字にぴったりの高校生の宣誓。よい春が東北に、日本各地に来てくれることを思わずには要られません。

石巻工業高校、阿部翔太君、ありがとう。

文：朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。

それは日本的なるもの「ジャパネスク」

日本人の感覚、ジャパネスク。

ジャパネスク精神(ジャパネスク・スピリット)を！！

4月7日(火)、7都府県に緊急事態宣言が発令されましたが、すぐにその緊急事態宣言は全国に再発令され、感染者の拡大は、一向に抑止できません。

日本は、日本人はジャパネスク精神をもっと、もっと発揮して、お互いに助け合い、支えあい、それを抑止することに心がけましょう。

また、世界各国と情報交換を密にし、情報の共有、研究(ワクチン、治療薬)など抑止のための、共同作業も十分に推進していきましょう。リーダーシップをとるのです。

季節は新緑の清々しい時季、太陽の光に照らされた新緑はキラキラと光っています。

そんな夏への季節の移ろいの時季なのに！！

心と身体は新型コロナウイルスのことでいっぱいです！！・・・が、

一瞬でも新緑の季節を十分に味わってください！！

われわれは生きているのですから！！

日本 2020 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

先が見えない新型コロナウイルス禍。ゴールデンウィークに入りましたが、すべての光景がこれまで見たことがないような異例づくめ。しかし、季節は春から初夏へと確実に廻っています。

さて、本文にもありますように、今号から「ともいき便り」も「四立二至二分」の年 8 回の発行になります。回数は減りますが、今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願ひします。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしくお願ひします。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp